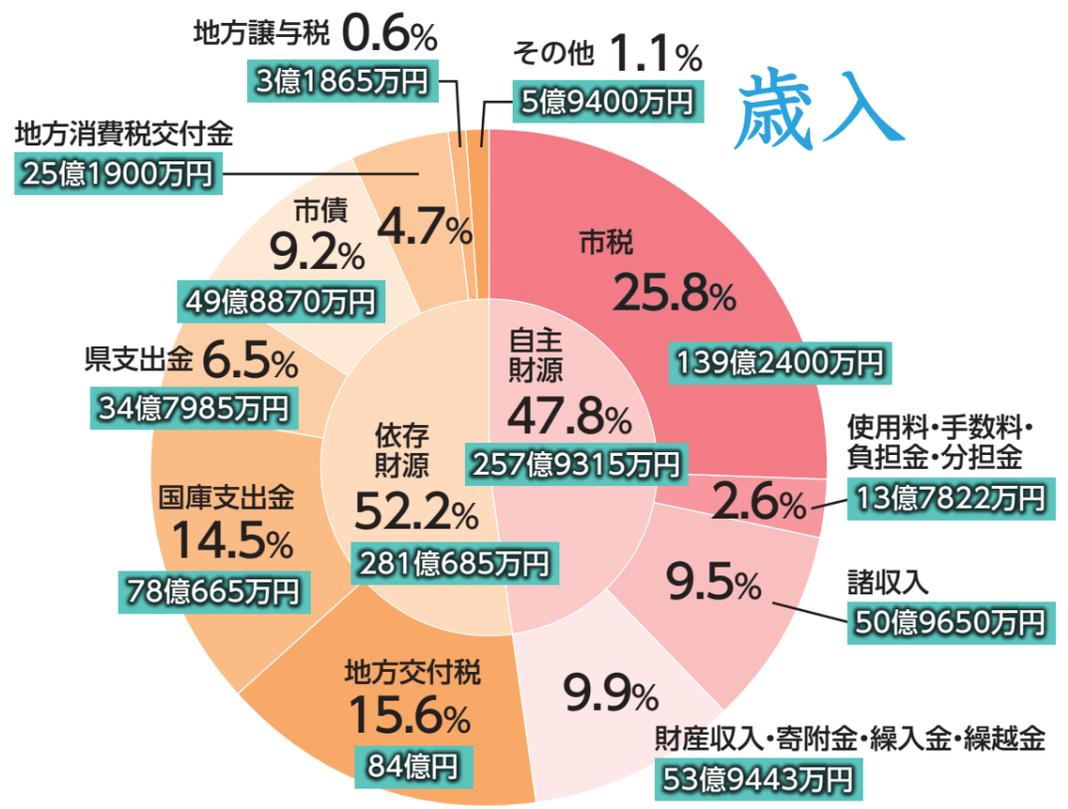
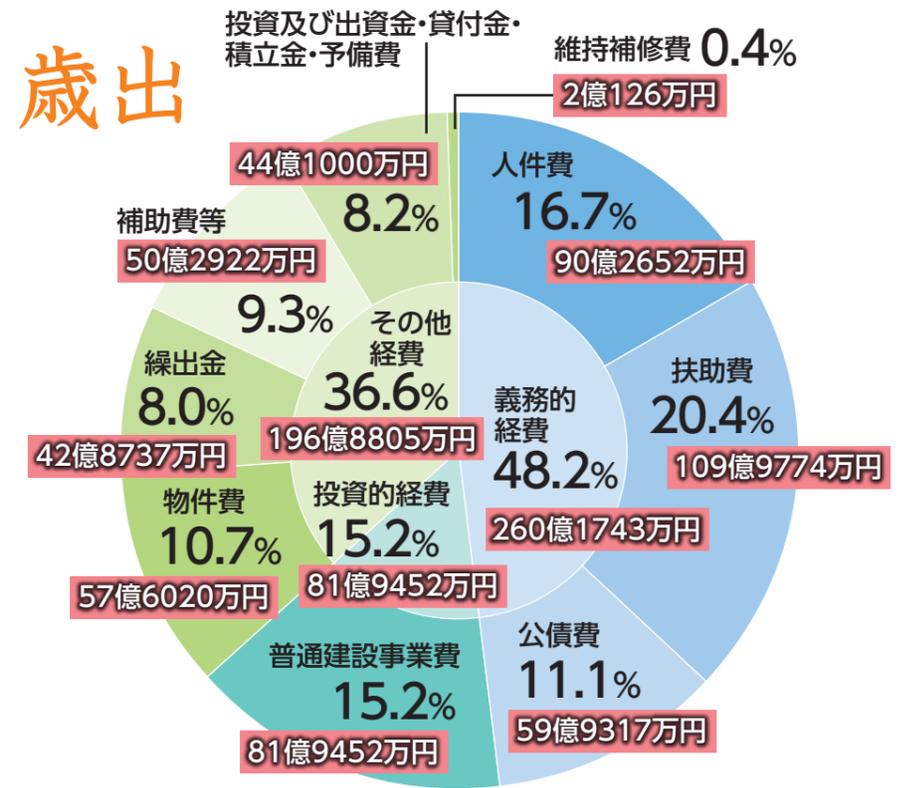


丸亀市の予算

一般会計の予算は
総額539億円



歳入



歳出

重点的施策

1. 心豊かな子どもが育つまち	
1歳児ハッピーバースデー子育て支援事業	410.5万円
こども食堂・居場所づくりネットワーク事業 業務委託料	250万円
(仮称)城乾こども園施設整備事業費	7億4755万円
小学校建設費(富熊小・城南小・城坤小・城乾小・ 城東小・垂水小・郡家小・栗熊小)	13億2927万円
中学校建設費(南中・飯山中)	1億4094万円
保育所、こども園、幼稚園危険遊具改善経費	463.4万円
小中学校危険体育器具改善経費	1800万円
2. 安心して暮らせるまち	
公園緑地整備事業費	1億5550万円
《排水対策事業》 排水対策事業費	1660万円
土地改良施設整備事業費	200万円
下水道(浸水対策)事業費	2500万円
《ゼロカーボン推進経費》 地域再生可能エネルギー導入目標策定事業費	1000万円
地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 策定事業費	330万円
刈草堆肥化業務委託料	500万円
《離島振興事業》 日本遺産構成文化財整備事業補助金	500万円
3. 活力みなぎるまち	
土地改良事業補助金	1億200万円
農地耕作条件改善事業費	1962万円
4. 健康に暮らせるまち	
新型コロナウイルスワクチン接種事業費	3億7529.6万円
自宅療養者生活支援事業費	165万円
敬老祝金	2590万円
5. みんなでつくるまち	
瀬戸内国際芸術祭事業費	6696.6万円
丸亀城石垣復旧事業費	2億2170万円
新市民会館建設事業(令和4~6年度)	106億9400万円
スケートボードパーク等施設整備事業費	910.8万円
キャッシュレス決済導入費	365.6万円

も園の整備をはじめとする、公共

(3) 投資的経費は、(仮称)城乾こども園の整備をはじめとする、公共

なっています。

00万円(▲17.4%)の減と

8700万円、前年度比約9億4

別会計への繰出金は総額で約4億

0万円(+24.7%)の増、各特

となどで、前年度比約9億970

の繰出金が補助費等へ移行したこ

また補助費等は、下水道事業へ

9.5%)の増となっています。

前年度比約4億9900万円(+

芸術祭事業費などの影響により、

物件費は、新型コロナウイルス

ワクチン接種事業費や瀬戸内国際

なっています。

(2) その他経費など

物件費は、新型コロナウイルス

ワクチン接種事業費や瀬戸内国際

芸術祭事業費などの影響により、

前年度比約4億9900万円(+

9.5%)の増となっています。

また補助費等は、下水道事業へ

の繰出金が補助費等へ移行したこ

となどで、前年度比約9億970

0万円(+24.7%)の増、各特

別会計への繰出金は総額で約4億

8700万円、前年度比約9億4

00万円(▲17.4%)の減と

なっています。

市税は前年度と比較して4億7000万円(+3.5%)の増となる139億2400万円、地方譲与税及び各種交付金は前年度比約3億6500万円(+11.9%)の増となる約34億3200万円、地方交付税は交付税措置がある市債の償還額の増加などで、前年比4億円(+5.0%)の増となる84億円を見込んでいます。

一方、税収の減収などを反映し、前年度大幅に増加した臨時財政対策債は、国の財政健全化の観点などから再び発行抑制傾向に戻り、

歳入

令和4年度は、新型コロナウイルスワクチン接種事業などの感染症対策や、デジタル化、ゼロカーボンシティの推進といった目下の課題に取り組むほか、こども園や学校施設、体育施設などの公共施設の整備に伴い投資的経費が増加したことから、一般会計予算総額は前年度比52億円、率にして10.7%増の539億円となり、過去最大の予算となりました。

市税は前年度と比較して4億7000万円(+3.5%)の増となる139億2400万円、地方譲与税及び各種交付金は前年度比約3億6500万円(+11.9%)の増となる約34億3200万円、地方交付税は交付税措置がある市債の償還額の増加などで、前年比4億円(+5.0%)の増となる84億円を見込んでいます。

一方、税収の減収などを反映し、前年度大幅に増加した臨時財政対策債は、国の財政健全化の観点などから再び発行抑制傾向に戻り、

特別会計および公営企業会計の規模

会計名	当初予算額	増減率 (%)
国民健康保険特別会計	120億5800万円	▲2.1
国民健康保険診療所特別会計	1億8500万円	9.8
駐車場特別会計	8330万円	▲23.5
後期高齢者医療特別会計	16億7100万円	6.4
介護保険特別会計	93億4400万円	2.4
介護保険サービス事業特別会計	1億1510万円	3.3
特別会計 合計	234億5640万円	0.2
下水道事業会計	67億2018万円	▲2.9
モーターボート競走事業会計	1278億2357万円	24.1

施設の老朽化対策などに伴い、総額で約81億9500万円、前年度比約8億4600万円(+11.5%)の増となっています。引き続き、新市民会館の整備や丸亀城の石垣に関する事業、総合運動公園多目的広場整備事業を進めるほか、コミュニティセンターや市道、土地改良施設などの整備にも取り組み、安全安心の基盤づくりに努めます。

歳出

人件費、扶助費、公債費の義務的経費は合計で約260億1700万円、歳出全体の48.2%を占め、前年度と比較して1億4000万円(+0.4%)の増となっています。そのうち人件費は前年度比約5900万円(+0.7%)の増、扶助費は前年度比約2400万円(+0.2%)の増、公債費は前年度比約2100万円(+0.4%)の増と

繰入金は、前年度比約4億1600万円(+8.8%)の増の約51億2700万円、臨時財政対策債を除いた市債は、前年度比約1億8500万円(+4.5%)の増の約42億9000万円となっています。

また、諸収入では、モーターボート競走事業からの収益収入として、40億円を計上し、全額を基金に積み立てます。

前年度比14億1000万円(▲66.2%)減少の7億2000万円となりました。そのため、経常的な一般財源の総額は約263億2900万円、前年度と比較して約1億7600万円(▲0.7%)の減を見込んでいます。